

平成31年度 事業報告書（モデル的事业）

団体名：丹生川まちづくり協議会

1. モデル的事业名	若者参画促進事業		
2. 事業名	丹生川まちづくり青年部活動事業		
3. 事業期間	H30～R1（2年）	4. 事業進捗率	70%
4. 目的	若者が地域活動に参画する仕組みをつくり、地域活動に参画する若者が少ない、若者の意見がまちづくりに反映されていない、地域の問題に関心を持つ若者が少ない、地域活動に閉塞感が生じ始めた等の課題の解決を図る。		
5. 事業実績	<p>【1年目・平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の定期開催 ・「丹生川の未来を語る若者の会」の開催（旧田中家） ・「民芸品製作体験講座」の開催（宿儺まつり） ・先進地視察研修「きりりよしじまネットワーク（山形県川西町）」 ・企画書の作り方講座の開催 講師：大宮康一氏（岐阜大学） ・活動報告及び事業提案（理事会） ・まち協のFacebookページの立ち上げ、丹生川の情報を発信（随時） <p>【2年目・平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の定期開催 ・学習会の開催①「丹生川・まち協の基礎情報を学ぶ」 ・学習会の開催②「移住者から見た丹生川」 ・特産品グルメ開発事業「すくなっツー焼き」の試食会 ・視察研修「(株)蜜元研究所（犬山市）」 ・郷土学習推進事業「にゅうかわかるた」の作成 ・郷土学習「丹生川再発見」協力（丹生川小学校） ・活動報告及び事業提案（理事会） ・まち協のFacebookページで、丹生川の情報を発信（随時） 		
6. 事業効果	<p>青年部の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館からの推薦や公募による新規部員、および継続者によって青年部の組織体制が強化された。またSNS等で部員の意思疎通を図りながら事業を進められた。 <p>事業の企画立案に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回の丹生川学習会を通じて、現在の丹生川・まち協について学び、理解を深めることができた。また、移住された方との対話を通して丹生川にいるからこそ気づかない視点や考え方を学ぶ機会が作られた。 ・前年度学んだ企画の立案方法や企画書の様式を用いながら、次年度事業案の計画を立てることができた。 ・事業成果が形となって表れた 		

	<p>特産品グルメ開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご当地グルメがなく、ゆるキャラも元気がないという課題から特産品グルメ開発事業が立案され、「すくなっツー焼き」の開発ができ、地域の方々にも受け入れてもらえた。 <p>郷土学習推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹生川のことを知れるようなことに取り組みたいという思いから郷土学習推進事業が立案され、「にゅうかわかるた」の作成に取り組み、目に見える形で事業の成果を表すことができた。 <p>事業に対するやりがいや活動意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すくなっツー焼き」や「にゅうかわかるた」の制作に部員全員で取り組むことで、試行錯誤しながらも協力し合い、活動に対するやりがいを感じながら、楽しんで事業を遂行することができた。 ・「すくなっツー焼き」に対して役割分担ができ、活動意欲が高まっているため、自発的に取り組める雰囲気醸成されつつある。 <p>今後の活動に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳を迎えた若者が丹生川地域のことをどのように考え、将来丹生川とどのように関わっていきたいかを把握するため、新成人を対象にアンケート調査を実施した。今後の学習会等に活かしていきたい。 ・青年部で話し合った結果、若者交流の場がない、手工芸品製作者の発掘等ができていない課題が判明したので、次年度は「マルシェ・フリーマーケット」の開催を企画中であり、実施に向け理事会で報告を行った。
<p>7. 今後の見通し・課題</p>	<p>事業の実施・継続・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案事業である「マルシェ・フリーマーケット」の開催に向けた活動をしたい。 ・作成した「にゅうかわかるた」を活用し、「かるた大会」を開催し、「にゅうかわかるた」を通じて丹生川を見つめ直すきっかけとしたい。 ・「すくなっツー焼き」についての検討。 <p>若者が集まる場の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年部だけではなく、丹生川について若者が話し合う場として「丹生川の未来を語る若者の会」を開催し、毎年語り合う場を設ける。 ・意欲的に学べる場を作っていくための、丹生川学習会の検討。

事業実施内容

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
毎月 1 回	定例会	事業の確認、準備、打合せ (6～10 月) すくなっツアー焼き講習会 (10 月) 次年度事業の計画 (11 月) 事業提案に向けた準備 (2～3 月)	10 月講習会講師 大井 唯史 氏
5 月 28 日	丹生川学習会①	テーマ：「丹生川・まち協の基礎情報を学ぶ」	
8 月 3 日 11 月 3 日 2 月 23 日	特産品グルメ開発事業	「すくなっツアー焼き」試食会	夏まつり 宿儺まつり ウインターカーニバル
12 月 6 日	丹生川学習会②	テーマ：「移住者から見た丹生川」 講 師：井関 貴文 氏 諸星 智吏 氏	
1 月 12 日	新成人アンケート	新成人を対象にアンケート調査を実施	
3 月 16 日	特産品グルメ開発事業	すくなっツアー焼き講習会 講 師：(株) 蜜元研究所 (犬山市)	
3 月 23 日	郷土学習推進事業	「にゅうかわかるた」を丹生川小学校卒業生に贈呈	小学校 6 年生 29 名
3 月 26 日	まち協理事会	活動報告会・事業提案	
随 時	まち協 Facebook の更新		

平成31年度 丹生川まちづくり協議会 収支決算書（モデル的事業）
丹生川まちづくり青年部活動事業

【収 入】

単位：円

区 分	当初予算	補正額	変更後予算額	決算額	差引額	内 訳
市補助金	940,000	0	0	940,000	0	協働のまちづくり支援金（モデル的事業）
自主財源	60,000	0	0	40,651	△ 19,349	まちおこし部会（企画委員会事業）
合 計	1,000,000	0	0	980,651	△ 19,349	

【支 出】

単位：円

事業・科目	当 初		補正額		変更後		決算額		差引額	
	予算額	支援金充当額		支援金充当額	予算額	支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額
事業費										
人件費	0	0	0	0	0	0	392,000	392,000	392,000	392,000
報償費	430,000	430,000	0	0	0	0	11,496	11,496	△418,504	△418,504
旅費	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	△20,000	△20,000
需用費	320,000	260,000	0	0	0	0	459,059	424,408	139,059	164,408
役務費	150,000	150,000	0	0	0	0	17,564	17,564	△132,436	△132,436
使用料及び賃借料	80,000	80,000	0	0	0	0	70,832	64,832	△9,168	△15,168
委託料	0	0	0	0	0	0	29,700	29,700	29,700	29,700
合 計	1,000,000	940,000	0	0	0	0	980,651	940,000	△19,349	0

平成31年度 丹生川まちづくり協議会 支出内訳書（モデル的事業）

単位：円

事業・科目	決算額		内 訳
		支援金充当額	
事業費			
人件費	392,000	392,000	
委員報酬	392,000	392,000	出役1回あたり2,000円（対象者19人）
報償費	11,496	11,496	
謝礼	11,496	11,496	講師謝礼
需用費	459,059	424,408	
消耗品費	44,964	11,933	事務用品、インク代等
材料費	211,949	210,329	すくなっツー焼き材料費
物品購入費	202,146	202,146	カルタ台紙等
役務費	17,564	17,564	
通信運搬費	17,564	17,564	郵便料、新聞折込料等
使用料及び賃借料	70,832	64,832	
使用料	70,832	64,832	テント使用料等
委託料	29,700	29,700	
委託料	29,700	29,700	版画撮影委託
合 計	980,651	940,000	